

令和 8 年度 公益社団法人天津市医師会事業計画

基 本 方 針

本会は、「医道の昂揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって地域社会への貢献と福祉を増進することを目的とする。」という基本理念に基づき、会員相互の協働をもって地域社会に求められる医療提供体制の整備並びにより安全で質の高いサービスの提供に努める。

さらに、天津市の胎児から高齢者まで幅広い年齢層への保健医療・福祉医療・救急医療・在宅医療等への貢献を図るとともに、健康づくりに関する意識の涵養並びに疾病予防と健康管理に係る啓発活動を推進する。

また、公益社団法人として、円滑かつ健全な会務運営及び看護専修学校の財源確保に努めるとともに、本会発展に向け、組織強化と時代に即応した改革を推し進め、天津市及び三師会並びに関係機関と連携して効率的かつ効果的な事業展開を行う。

重 点 目 標

1. 市民の生命と健康を守るため、感染症パンデミック防止に努め、地域医療体制の維持を図るために、天津市の感染症ワクチン接種業務に協力する。
2. 天津市及び関係機関と連携した健診、予防接種、健康教育など各種疾病予防対策の推進
3. 市民向けの公衆衛生情報の発信及び広報啓発活動の強化並びに充実
4. 大規模災害時等における災害医療救護体制への協力及び出動
5. 在宅医療と多職種連携による在宅療養推進体制及び地域包括ケアシステム構築への協力
6. 天津市三師会の拠点「明日都浜天津」における天津市保健所との相互連携の強化
7. 天津市議会議員との意見交換及び相互研修に向けた取り組み
8. 本会立看護専修学校が公益事業の一環として設置運営する准看護師養成所であることの啓発と効率的かつ安定した学校経営
9. 本会 HP の会員 SNS を通じた迅速な日医、県医、行政からの情報共有と医療現場及び事務全般における ICT 活用の研究と実践
 - (1) びわ湖あさがおネットへの利用促進
10. 各種委員会等に推薦する役員等の適正配置及び役割分担
11. 部活動の活性化、福利厚生の実施及び組織率向上と組織強化に向けた取り組み
12. オンラインやSNSでの時代に即した会議等運営の効率化及び財源の再検討

各部別活動方針・事業計画及び部員名<50音順・敬称略>

〈各部共通方針〉

1. 部員活動の活性化
 - (1) 各部において、所管事業を自主的かつ効率的に運営していく仕組みを構築する。
 - (2) 女性及び勤務医の会員等が、積極的に事業参加できる環境・仕組みを構築する。
2. 新入会員の参加促進：新入会員の積極的な参加を促す事業を実施する。
3. オンラインやSNSでの時代に即した会議等運営の効率化及び財源の再検討

〈各部別活動方針・事業計画及び部員名〉

「総 務 部」

部 長：高岡 篤

基本方針に基づき、会務全般についての円滑な運営と推進及び調整を図る。

＜活動方針・事業計画＞

1. 諸事業及び各部活動の総合調整と効率化
2. 定時総会、理事会及び部長会の開催
3. 委員会及び会合等の調整
4. 行政及び関係機関・団体との交流と連携
 - (1) 大津市三師会協議会の開催
 - (2) 大津市議会議員との懇談会の開催
5. 定款及び諸規程等の整備
6. 例会の開催
7. 新規開業会員へのオリエンテーションの開催
8. 三師会合同人権研修会の開催
9. SNSを含めたICT活用による事務改善及び事業の効率化
 - (1) 情報の共有・メール体制の充実
 - (2) 会議資料等のペーパーレス化
 - (3) 文書管理体制の改善

「経 理 部」

部 長：藤井 靖子

＜活動方針・事業計画＞

経費節減と効率的運営による健全財政の堅持を図る。

1. 効率的な予算の運用と適正な処理
2. 経費の節減
3. 公平な会費負担の検討

「学 術 部」

部 長： 西山 順博

副部長： 上田 創平 岡川 浩人 高見 史朗

部 員： 麻生 伸一 有村 哲朗 伊藤 雅夫 金田 吉正 川會 順
神波 照夫 河南 智晴 曾田 宏明 高尾 典恭 谷口 孝夫
竹岡 玲 中島 聡 中島 滋美 西山 敬三 原田 英彦
樋口 博一 藤井 恒夫 藤岡 秀行 藤田 俊樹 本郷 吉洋
増田 信弘 森寺 威之 山中 俊彦 由良 茂人 吉田 滋
(29 名)

＜活動方針・事業計画＞

病院と診療所の連携を基礎にして、学術講演会及び研修会を通じて、会員の医学知識の向上と診療内容の充実を図る。

1. 日本医師会生涯教育制度への協力
2. 学術講演会、アフタヌーンセミナー、イブニングセミナー、サタディセミナーパート1・パート2及び研修会の開催
3. 病病、病診、診診連携事業の実施
 - (1) 患者紹介制度の推進
 - (2) 大津紹介患者診察検査予約制度の推進
 - (3) 地域医療支援事業への協力
 - (4) 大津市病診連携推進委員会の運営
 - (5) 病院見学会の開催
 - (6) 大津地域連携パスの検証と作成
糖尿病、PEG、市中肺炎、心筋梗塞、C型肝炎、認知症、骨粗鬆症
 - (7) 骨折寝たきり地域医療連携対策検討委員会の運営
 - (8) 排尿障害地域医療連携対策検討委員会の運営
4. 医師臨床研修制度の推進
5. おおつ健康フェスティバルにおける予防事業への協力
6. 健康教育への講師派遣
7. 医療用文書の作成と検証
8. 地域または有志による勉強会の支援

「保 険 部」

部 長： 大村 具子

副部長： 坂部 秀明 藤井 紀和

部 員： 芦田 義尚 池崎 龍仁 大道 信之 岡川 浩人 小野 恭一
桂川 浩 北野真由美 北村 博之 小林 昌樹 駒井 潔
佐伯 善文 洲崎 聡 瀬古 修二 高尾 典恭 高山 昌奎
立花 佳代 田中 和成 中嶋 敏宏 西村 尚記 根本 正
濱辺 方子 日指 沢子 光吉 出 由良 茂人 (27 名)

＜活動方針・事業計画＞

国民皆保険制度の堅持を旨として、保険診療の拡充と適正な運用を図る。

1. 保険診療の質向上のための調査及び会員への情報提供
会員への情報提供の際、オクレンジャーを活用

2. 保険診療の IT 化についての調査・研究
3. 保険診療に関する意見・要望への対応
 - (1) 社会保険医療担当者の個別指導の事前相談
4. 国民皆保険制度の堅持と拡充のための調査・研究
5. 労災・自動車保険等への対応
6. 裁定委員会の開催
7. 自浄作用活性化委員会の開催
8. 医事紛争への対応

「公衆衛生部」

部 長： 尾辻 りさ

副部長： 根本 正 吉田 隆行

部 員： 池ノ上晃一 遠藤 郁 小澤 博史 佐伯 善文 田井中憲三
 中島 滋美 西角 淳 日高 硬 藤井 恒夫 村田 敏彦
 渡邊 茂弥 (14 名)

<活動方針・事業計画>

大津市における健康危機管理体制の整備を図る。

1. 疾病の一次予防及び二次予防の推進

保健所が行う各種健(検)診・予防接種等への協力及び健康教育、各種疾病予防事業の推進並びに支援
2. 救急医療活動の推進
 - (1) 大津地域小児急病診察室(大津赤十字病院)への参画と協力
 - (2) 大津市メディカルコントロール体制への協力
3. 危機管理対策(大規模災害等)の整備、充実
4. 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく住民接種ガイドラインへの協力

「厚生部」

部 長： 横井 崇子

副部長： 青木 裕彦 吉川 哲也

部 員： 梅田 朋子 大西 利穂 岡村 清 木下 康 中嶋 敏宏
 根本 正 福島 英行 村田 敏彦 村田 安雄 祐森 裕子
 (13 名)

<活動方針・事業計画>

会員相互の交流と親睦を図る。会員家族を含めた行事への参加を促す企画により連帯感を一層深め、会員の健康管理を推進し、福利厚生に寄与する。

1. 会員、家族、従業員の定期健康診断の実施
2. 各種同好会の育成と会員相互の親睦推進

ゴルフ同好会 囲碁同好会 音楽同好会
3. レクリエーション事業等の充実

会員家族親睦旅行等(季節のイベント開催やウォーキング等を含む)
4. 会員作品展の開催
5. 会員の福利厚生のための企画及び情報提供
6. 各表彰対象者の推薦と本会表彰制度の運営

7. 女性会員の事業活動への参加推進

8. 組織率向上対策の推進-

「学校保健部」

部 長： 近藤 恭子

副部長： 饗庭 昭彦 伊吹 将吾

部 員： 麻生 伸一 采野 舞侑 岡村 清 岡本 宣浩 岡本 芳郎
奥田 晃朗 小澤 博史 小野 恭一 北村 清明 木下 康
木原美奈子 清河 滋子 清水 次子 城山 照貴 立花 佳代
西角 淳 光吉 出 山田 哲博 横井 崇子 横田 章夫
(23 名)

<活動方針・事業計画>

次代を担う児童・生徒の心身両面の健康を守るために、保育園、幼稚園、学校保健活動の更なる充実発展に努める。

1. 児童・生徒の健康診断の検討と対策、精度管理と成果の検証
2. 児童・生徒の心臓検診と心臓病対策
3. 児童・生徒の尿検査と腎臓病・糖尿病対策
4. アレルギー性疾患対策
5. 心身障害児の保健対策
6. 小児生活習慣病予防事業
7. 運動器検診検討委員会の開催
8. 専門科校医派遣相談事業に関する事
9. 校医・園医の適正配置と処遇改善及び研修会の開催
10. 発達障害児への支援に関する事
11. 学校感染症の情報提供
12. 学校における禁煙教育の推進
13. 学校保健関係者研修への協力（大津市養護教諭研究会等）
14. 公立保育園医連絡協議会の運営に関する事
15. 大津市児童虐待防止ネットワーク協議会への協力等、虐待防止の推進
16. 教職員の過重労働及びメンタルヘルス対策支援
17. 予防接種に関する事

「広 報 部」

部 長： 高岡 篤

副部長： 中島 年和 近藤 恭子

部 員： 有村 哲朗 石黒 淳 石戸谷 哲 泉 雅文 岡島 達也
齋藤 哲文 坂本 忠弘 堤 元信 土井隆一郎 中嶋 敏宏
本多 和彦 村田 安雄 山田 哲博
(16 名)

<活動方針・事業計画>

医師会活動の会員への周知を図り、市民の健康増進に寄与するための啓発情報の提供と、その普及啓発を推進する。また、大津市医師会立看護専修学校の広報活動を援助する。

1. 市民が疾病、健康増進等について正しく理解するための啓発活動
(1) 医師会・社協コラボ出前講座の実施

- (2) 市民公開講座の開催
- 2. 対外広報活動の企画運営
- 3. 大津市医師会誌の発行及び管理
- 4. 大津市医師会ホームページとSNSの利用促進及び管理運営
- 5. 多職種連携のためのICTネットワークの充実・促進
- (1) びわ湖あさがおネットの利用促進
- 6. 大津市医師会立看護専修学校の広報活動の援助

「調査企画部」

部 長： 永井 宗人
 副部長： 北沢 明人
 部 員： 葦原 滋 榎堀みき子 遠藤 郁 小林 昌樹 齋木 俊男
 坂部 秀明 光吉 出 山田 忠尚 (10 名)

＜活動方針・事業計画＞

会員及び医療を取り巻く諸問題の調査・分析を行うとともに、医師会活動の基礎資料の収集と医師会の将来構想の協議を通して医療計画に役立つ情報を提供する。

- 1. 医師会運営に関する調査企画の実施
- 2. 各事業部との連携による調査の実施
 病病・病診連携事業の調査の実施
- 3. 日本医師会・近医連・県医師会等による各種調査の協力
- 4. 医師会入会審査基準、会員遵守事項の作成
- 5. 入会の手引き並びに入会金、会費等の見直し
- 6. 入会時審査の整備と開業相談委員会の開催
- 7. 合同移動懇談会の開催
- 8. 公益法人としての事業の維持管理
- 9. 女性医師や勤務医の積極的参加を促す企画提案

「看護専修学校担当部」

部 長（兼副校長）： 川會 順
 校 長 : 伊藤 雅夫
 部 員（運営委員）： 泉 雅文 坂部 秀明 立花 佳代 永井 宗人
 日高健太郎 山本 貴子 (8 名)

＜活動方針・事業計画＞

准看護師に必要な知識及び技術を教授し、社会に貢献できる人材を養成する。

- 1. 看護専修学校の教育の円滑な推進を図る
- 2. 学校施設など教育環境の整備及び充実
- 3. 看護専修学校審議会の運営

「産業保健部」

部 長： 吉田 隆行
 副部長： 饗庭 昭彦 佐々木義孝 中西 一郎

部 員： 伊豆蔵るり子 岡本 宣浩 川島 恵美 坂口知香子 竹岡 玲
 永井 宗人 藤川 憲夫 益田 和幸 三原 卓 | 村田 思良
 村田 敏彦 祐森 泰郎 (16 名)

<活動方針・事業計画>

すべての働く人の健康保持・増進と労働生産性向上のため、産業保健活動の充実を図る。

1. 滋賀産業保健活動総合支援事業への協力
2. 産業医の養成・生涯研修への協力
3. 産業医の紹介活動
4. 学校保健部事業のうち教職員の健康管理への支援
5. うつ病自殺予防対策の推進
6. 各種健康診断、疾病予防及び保健指導事業の企画提案と協力、精度管理、成果の検証
7. 特定健康診査、特定保健指導の推進
8. 障害者総合支援制度への協力
9. 治療と仕事の両立支援の推進

「高齢者保健部」

部 長： 浜本 徹
 副部長： 松田 親児 青木 浄亮
 部 員： 今村 浩 遠藤 郁 加藤 泰規 金田 吉正 栗本 藤基
 小泉 武 曾田 宏明 高山 昌奎 田中 努 玉川 正明
 永井 宗人 根本 正 本多 和彦 村上 純一 吉田 滋
 (18 名)

<活動方針・事業計画>

高齢社会に対応し、高齢者の QOL の向上、介護予防を地域住民と連携し推進する。

1. 認知症相談事業の推進
 - (1) 物忘れ相談事業の実施
 - ① もの忘れ相談事業(対面・オンライン)の実施
 - ② メール相談
 - ③ 認知症初期集中支援チームへの協力
 - (2) 認知症初期集中支援に係るかかりつけ医対応力向上研修会の実施
2. 認知症医療従事者研修会の開催
3. 医師会・社協コラボ出前講座の実施
4. 介護保険制度への協力
 - (1) 大津市介護認定審査会への協力
 - (2) 介護・看護との連携の強化
5. 認知症老人ケア体制整備事業への協力
6. 成年後見制度の啓発
7. 大津地域リハビリテーション体制への協力
8. 学術部との共同による大津地域連携パスの運用と検証
9. 在宅療養推進部との連携推進

「在宅療養推進部」

部 長： 有村 哲朗
 副部長： 西山 順博 尾辻 りさ

部 員：	井上 文彦	今村 浩	岩波 寿子	上原栄之輔	内山 達樹
	遠藤 徹	大西 利穂	大道 信之	奥村 裕之	小椋 英司
	金田 吉正	川村 恒博	貫野 賢	口出 将司	小泉 武
	小林 昌樹	酒井 滋企	酒井 直樹	佐々木義孝	瀬戸宗一郎
	高山 昌奎	滝本 行延	滝本 善仁	田中 善八	浜本 徹
	馬場 均	東 昌子	日高健太郎	日高 硬	平田 和人
	福田 章典	本郷 吉洋	松田 明	松田 親兒	水谷幸之祐
	八木 俊和	柳橋 健	山岡 一衛	山田 忠尚	山本 貴子
	吉徳 克仁				(44 名)

<活動方針・事業計画>

在宅療養を支える関係機関ならびに行政との連携を図り、多職種協働により在宅医療・介護が一体的、有効的に提供できる体制を構築する。

1. 在宅医療・介護連携の充実・推進
 - (1) 訪問診療バックアップ体制の確立と強化
 - (2) 大津市在宅療養推進連絡会の開催、情報交換と活用
 - (3) 在宅医療・介護連携推進事業（多職種連携）への協力
 - (4) 滋賀県在宅医療推進フォーラム等研修会への参画
 - (5) 意思決定支援・人生会議の推進
 - (6) 骨折寝たきり予防対策、骨粗鬆症対策の推進
 - (7) 在宅医療協力医情報システムの運用
2. 在宅医療連携拠点への協力
 - (1) 大津市在宅医療連携拠点運営会議への参画
 - (2) 合同研修会、ブロック活動等への協力
3. 市民への普及啓発
 - (1) 大津市医師会誌「在宅コーナー」へ掲載
4. その他在宅療養に関する事業

以 上